



▽：今回は特集「戦後終焉期、ニッポン」ととりくんだ。  
 五年程前までは、戦争で焼けましてね、という大人達の会話をよく耳にしたものだった。あたりまえのことだが戦争があれば戦後はある。戦後二十年。戦争を知らない我々にとって、戦争は何を意味し、我々はそこから何を学びとるのか。  
 ▽：西欧諸国にとって、ただの「ひがし」になってしまった「きよくとう」  
 ▽：ヴェトナムの泥だらけの闘い。南朝鮮人民の激しい抵抗。ヴェトナムの炎はアメリカの日常の北爆によって、我々にとって日常のものになってしまったのではなからうか。南ヴェトナムへの出動命令を拒否した米兵を、我々は驚きの目をもってみはし

なかつたろうか。そしてまた、基地となつてゐる日本の国の沖縄。  
 それらの渦の中の人々から手記をよせていただいた。  
 ▽：第十六回大学祭の最終日。天候が危ぶまれた園遊会も無事終了し、まずまずの好評であった。しかし一寸気にかかったことがある。当日講堂で行われた映画「二十才の恋」の盛況に比べ、安東氏の講演の聴衆の少なさである。何か、大学祭を象徴しているかのようなのである。  
 大学祭には二つの核がある。一つが講演の聴講者であり、他方が映画を見に来る人々である。展望は後者の核を前者の核に結びつけ、引きよせる連絡糸の役を担いたい。  
 ▽：ここ数年展望のために涙ぐましい努力をしてきた諸先輩から、新鮮で生き生きした(?)二年生に今春からバトンが渡された。はじめて、自分達で編集、

校正、割りつけをやってみてその困難さを身にしみて感じた。要領をのみこんだ諸先輩のようにはうまくいかずいたらぬ点多かったが、そこは若々しいエネルギーで乗り切った。  
 発行委員十五名のうち、十一名が一、二年生で占められており、その沸騰する若いエネルギーで展望のターピンは力強くまわりつづけていくであらう。  
 ▽：期待される人間像“に対し企画宣伝した”期待される学生像“に多数の応募を戴きました。おわび申し上げます。  
 小説、詩にも多数の応募があり乍ら一、二篇しか掲載できず残念。次号への力作を待つ。未来を叫ぶ激しい論争を、明日の文化は我々の手で、今ほどこの言葉が実質化する必要が感じられる時はない。諸君等の批評と意見を仰ぎたい。

この雑誌についての  
おぼえ書き

名 前 神戸大学総合雑誌 展望 第14号 ©  
 発行の時 1965年 7月  
 発行団体 神戸大学総合雑誌展望発行委員会  
 発行委員会本部 神戸市灘区一王山町3 神戸大学鶴甲  
 学舎内 電話(86)0001 振替 神戸6732  
 印刷所 株式会社 天理時報社  
 定 価 150円

スピーディなサービス

入金  
 わずか2 / 自動中継テレタイプ  
 送金

送金や振込みのご依頼をうけてからわずか2分後には もう先さまの口座に入金いたしております。

毎月12日はすまいるデー  
**神戸銀行**

あなたの財産のマネージャー

**東洋信託銀行**

三和銀行 神戸銀行  
 野村証券

銀行と証券がつくった  
 新しい信託銀行!

本店 東京都中央区日本橋1-1  
 本電話 代表 (272) 7311

酒 ※ 清

灘の生一本

**澤之鶴**

沢の鶴株式会社

# 岩波講座 現代法

## 全15巻

第1回＊発売

### 第1巻 現代法の展開

〈編集〉 東京大学法学部教授 小林直樹

今日の法体系は、めまぐるしい現代社会の進展に伴って大きな転回を遂げつつある。近代市民法の組織や技術を受けつぎながら、めざましい変貌を示す現代法の諸分野は、過去からの流れを体系的に把握しない限り容易には理解しがたい。本巻はこのために、国家公法・私法・社会法の変動、および国際法の当面する基本問題を展望し、あわせて実定法と階級・意識・道徳などとの連関を考察し、現代法の総合的な理解に資することを目的とする。

#### 序論 問題の展望

#### I 現代法の問題状況

- 一 国家法体系の変動と問題 東大社会科学 小林直樹
- 二 近代市民法の変動と問題 研究所助教授 渡辺洋三
- 三 社会法の展開と現代法 京都大学法学部教授 片岡 昇

#### II 現代における法と社会

- 一 現代法と階級 学習院大学法学部教授 宮島尚史
- 二 現代の法意識 東北大学法学部教授 広中俊雄
- 三 法と道徳の現代的交渉 同志社大学法学部教授 恒藤武二

#### III 国際社会における法変動

- 一 現代国際社会の特質 東京大学法学部教授 高野雄一
- 二 国際法の新展開 京都大学法学部助教授 太寿堂鼎

第2回／7月10日発売  
第2巻／現代法と国家

■全15巻の構成と編集責任者

- ① 現代法の展開 小林直樹
- ② 現代法と国家 橋本公互
- ③ 現代の立法 和田英夫
- ④ 現代の行政 芦部信喜
- ⑤ 現代の裁判 高柳信一郎
- ⑥ 現代の法律家 三ヶ月章
- ⑦ 現代法と経済 潮見俊隆
- ⑧ 現代法と市民 渡辺洋三
- ⑨ 現代法と企業 加藤一郎
- ⑩ 現代法と労働 矢沢 惇
- ⑪ 現代法と刑罰 小川政亮
- ⑫ 現代法と国際社会 平野龍一
- ⑬ 現代法の思想 高野雄一
- ⑭ 外国法と日本法 井上 茂
- ⑮ 現代法学の方法 伊藤正己

A5判上製函入・本文平均三七〇頁  
毎月1冊10日刊行 価各巻六〇〇円

《内容見本進呈》

東京神田一ツ橋 岩波書店

定価 百五十円